

- 2年次 目上の者と目下の者との会話（男性）
老年層の女性の対話
- 3年次 老年層と若年層の会話
場面設定の会話
民話
- 調査地区 福島市、会津高田町、昭和村、相馬市、いわき市 5地区
- 調査員 主任調査員 福島大学教授 菅野 宏
調査員 福島大学教授 渡辺 義夫
地区調査員 会津高田町 大越 大雄
同 昭和村 皆川伝三郎
同 相馬市 阿部 好

同 いわき市 和田 文夫

④ 歴史の道保存調査

古くから文物や人物の交流の舞台となってきた道・水路は、わが国の歴史を理解する上で極めて大切な意味をもつものである。このため、57年度から3か年計画で、県内の「歴史の道」ともいべき江戸時代以前の古い道、河川等と、それに沿う地域に残されている歴史的遺産を周囲の環境を含めて、総合的かつ体系的に調査を行っている。

○調査期間 昭和57年度～昭和59年度

○調査対象 3か年で13街道

「歴史の道」調査候補一覧表

調査年度			番 号	街道名(仮称)	概算 距離 km	区 間	参 考
57	58	59					
○			1	奥 州 道 中	120	白坂—白河—郡山—福島—貝田（仙台方面へ）	奥州諸大名参勤交代の道
		○	2	浜 街 道	120	酒井—窪田—平—小高—相馬—新地（仙台方面へ）	浜通りの主要街道
○			3	米 沢 街 道	30	八丁目（松川）—平田—大森—庭坂（米沢へ）	羽州街道の脇街道
○			4	羽 州 街 道	10	桑折—小坂—小坂峠（山形・秋田方面へ）	出羽国の大名道
		○	5	水 戸 街 道	61	矢吹—棚倉—東館（矢祭）（水戸・常陸太田方面へ）	古代文化伝播の道
			6	中 村 街 道	60	福島—掛田—東玉野—中村（相馬）	相馬藩と中通りを結ぶ道
○			7	相 馬 街 道	66	本宮—針道—比曾—飯樋—草野—中村	中通りへの塩の道
		○	8	磐 城 街 道	70	本宮山>三春—船引—小野—平	いわき地方と中通り物資交流の道
		○	9	御 斎 所 街 道	(67) 37	(須賀川) 竹貫（古殿）—皿貝—常磐湯本	石川・いわき地方を結ぶ主要道
○			10	白 河 街 道	80	若松<背炙峠>福良—勢至堂峠—白河 滝沢峠	会津藩主参勤交代路
○			11	南 山 通 り	64	若松—福永（本郷）—大内—田島—糸沢（今市方面）	参勤交代と仲付駕者の道
○			12	二 本 松 街 道	53	若松<大寺>猪苗代—揚枝峠—本宮—二本松 滝沢峠	会津への物資流入路
			13	福 島 街 道	77	若松—猪苗代—酸川野—土湯峠—福島	近世に開発された道
○			14	米 沢 街 道	47	若松—塩川—熊倉—大塩—桧原—桧原峠 （米沢へ）	伊達政宗会津侵入の道
○			15	越 後 街 道	33	若松—坂下—塔寺—鐘撞堂峠—野沢（津川・新潟方面へ）	越後からの塩の道
			16	沼 田 街 道	184	若松—坂下—柳津—只見—古町—桧枝岐—尾瀬（沼田へ）	会津半周の主要街道
			17	八 十 里 越	20	叶津（只見）—八十里峠—鞍掛峠（新潟県下田村方面へ）	奥会津への文化流入路
			18	六 十 里 越	25	只見—田子倉（大白川・小出方面へ）	越後へ青茅輸出の道
			19	梁 川 丸 森 道	(30) 15	（福島）—梁川—山舟生—県境	仙台領と結ぶ紙漉きの道
			20	中 村 丸 森 道	10	中村—旗巻峠（丸森方面へ）	伊達氏、相馬氏合戦の道